

# 2015年度 第2四半期 連結業績概要

2015年11月2日

**ブラザー工業株式会社**

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確実要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

- ◆ Q1末よりDomino Printing Sciences plcを連結化。Q2よりドミノ事業としてセグメント開示開始
- ◆ 各事業とも新興国中心に厳しい環境となったものの、ドミノ事業を除くベースでも実質+3.1%の増収を確保
- ◆ Domino社取得に伴う費用（▲18億円）、製品保証引当金の追加計上（▲28億円）の影響により、減益となる

単位：億円

	15Q2累計	14Q2累計	増減率 ( )は為替影響除く増減率	15Q2	14Q2	増減率 ( )は為替影響除く増減率
売上高	3,711	3,247	14.3% (+8.3%)	1,940	1,642	18.1% (+12.4%)
営業利益	249	300	-16.9%	96	135	-28.5%
営業利益率	6.7%	9.2%		5.0%	8.2%	
経常利益	252	276	-8.9%	92	128	-28.3%
特別損益	11	160		13	-2	
法人税等	126	65		40	49	
四半期純利益	136	372	-63.3%	65	78	-16.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	134	371	-64.0%	64	77	-16.7%
換算レート						
USD	121.50	103.51		121.91	104.35	
EUR	134.60	139.07		136.00	137.94	

© 2015 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

2

- ✓ Q2の売上高は、1,940 億円で、実質で12.4%の増収  
内訳は、既存事業で約+36億円、ドミノの新規連結により+168億円、為替影響により+94億円
- ✓ 営業利益は、P&S事業で製品保証引当金を約28億円追加計上した影響や、中国の景気減速により減収となったM&S事業の影響により、38億円の減益

売上高

■ 3,711億円 (+14.3%)

ドミノ社連結効果および米ドルの円安効果により増収

営業利益

■ 249億円 (▲16.9%)

ドミノ社取得費用及び製品保証引当金の計上により減益

経常利益

■ 252億円 (▲8.9%)

為替関連損益の改善により、営業外損益は26億円の改善

税前利益

■ 263億円 (▲39.9%)

前期に計上した不動産売却益（163億円）の反動減もあり、大幅減益

四半期純利益

■ 134億円 (▲64.0%)

税前利益の減少に加え、税効果会計の影響もあり、大幅減益

( )は対前年増減率

P&S

■ 売上高 2,360億円/ +8.3% (+1.9%)  
中国・中南米・ロシアなど新興国の需要低迷。国内はLBPが好調に推移

P&H

■ 売上高 252億円/ +15.4% (+6.9%)  
ミドルレンジ新製品投入により、北米・西欧で好調に推移

M&S

■ 売上高 493億円/ +5.2% (▲1.7%)  
Q2に入り、産業機器は受注が弱含む。工業用ミシンは中国向け堅調維持

N&C

■ 売上高 271億円/ +20.4%  
通信カラオケ機器の新製品投入。テイチク2社を新規連結

工業用部品

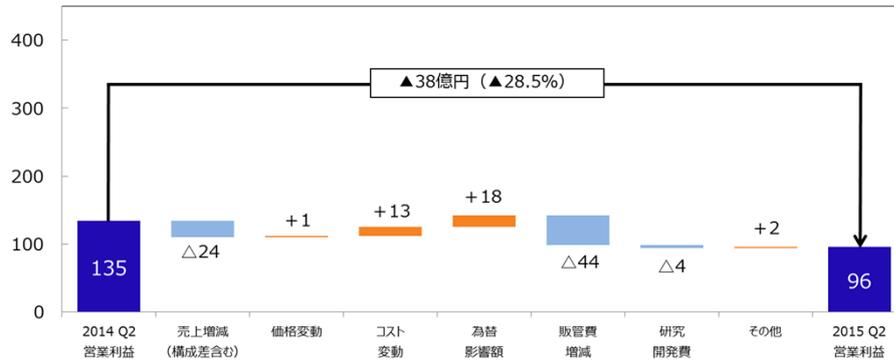
■ 売上高 91億円/ +5.1% (+1.9%)  
各地域とも堅調に推移

%は対前年増減率/( )は現地通貨ベースの対前年増減率

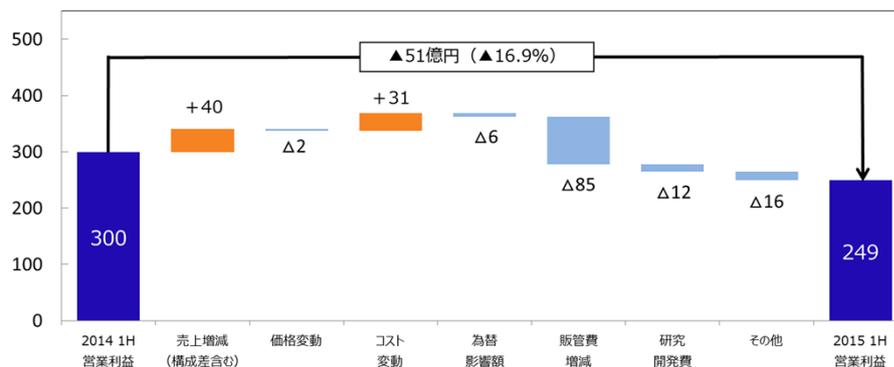
# 営業利益増減要因

単位：億円

## 第2四半期 (3ヶ月)



## 第2四半期 (累計)



© 2015 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

5

- ✓ Q2の売上増減は、主に産業機器の減収により、△24億円のマイナス
- ✓ Q2の為替影響は、前年同四半期に比べ、四半期内でドル円が円高に変化したことが、連結決算における在庫未実現利益の消去額にポジティブな影響を与え、+18億円のプラスとなる
- ✓ 販管費は、主にP&S事業で増加

- ◆ P&Sは、中国を中心とする新興国の見通しを中心に引き下げ
- ◆ 中国の景気減速により受注が弱含んでいる産業機器の見通しを引き下げ
- ◆ 利益面は、上記に加えQ2で製品保証引当金を追加計上した影響を織り込む

単位：億円

	15通期予想	前回予想	増減率	14年度通期	増減率 ( ) は為替影響除く増減率
売上高	8,000	8,300	-3.6%	7,072	13.1% (+10.9%)
営業利益	500	580	-13.8%	575	-13.1%
営業利益率	6.3%	7.0%		8.1%	
経常利益	485	560	-13.4%	516	-5.9%
特別損益	15	-5		138	
法人税等	180	195		116	
当期純利益	320	360	-11.1%	538	-40.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	315	355	-11.3%	540	-41.6%
換算レート					
USD	120.81	120.60		110.03	
EUR	134.78	134.82		138.68	

© 2015 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

6

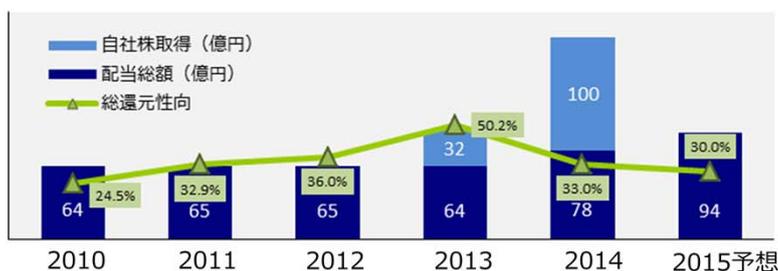
- ✓ 売上高は、前回予想から300億円の下方修正。  
内訳は、P&Sで▲165億円、M&Sで▲97億円など
- ✓ 営業利益は、前回予想から80億円の下方修正  
内訳は、P&Sで▲57億円、M&Sで▲16億円など

業績予想を引き下げたものの、一株当たり年間36円の配当予想は変更なし

<配当性向の推移>



<総還元性向の推移>



\*2013年の自社株取得32億円は、連結子会社化した株式会社ニッセイが保有していたブラザー工業株の取得によるもの

## セグメント情報

# 2015年度 第2四半期（3ヶ月）セグメント別実績



単位：億円

売上高	14Q2	15Q2	増減率	現通年へ 増減率
<b>全社</b>	<b>1,642</b>	<b>1,940</b>	<b>18.1%</b>	<b>12.4%</b>
プリンティング & ソリューションズ	1,100	1,191	8.2%	2.1%
パーソナル & ホーム	125	142	14.0%	5.6%
マシナリー & ソリューション	219	190	-13.2%	-19.4%
ネットワーク & コンテンツ	118	155	31.3%	31.0%
工業用部品	44	45	3.0%	0.1%
ドミノ事業	-	168	-	-
その他	36	48	33.6%	33.6%

営業利益	14Q2	15Q2	増減率
<b>全社</b>	<b>135</b>	<b>96</b>	<b>-28.5%</b>
プリンティング & ソリューションズ	93	48	-48.8%
パーソナル & ホーム	13	19	51.7%
マシナリー & ソリューション	33	21	-38.4%
ネットワーク & コンテンツ	-7	1	-
工業用部品	0	2	-
ドミノ事業	-	2	-
その他	2	5	138.8%

# 2015年度 第2四半期累計 セグメント別実績



単位：億円

売上高	14Q2累計	15Q2累計	増減率	現通年へ 増減率
<b>全社</b>	<b>3,247</b>	<b>3,711</b>	<b>14.3%</b>	<b>8.3%</b>
プリンティング & ソリューションズ	2,178	2,360	8.3%	1.9%
パーソナル & ホーム	218	252	15.4%	6.9%
マシナリー & ソリューション	469	493	5.2%	-1.7%
ネットワーク & コンテンツ	225	271	20.4%	20.0%
工業用部品	86	91	5.1%	1.9%
ドミノ事業	-	168	-	-
その他	70	75	7.4%	7.3%

営業利益	14Q2累計	15Q2累計	増減率
<b>全社</b>	<b>300</b>	<b>249</b>	<b>-16.9%</b>
プリンティング & ソリューションズ	211	157	-25.6%
パーソナル & ホーム	20	26	30.2%
マシナリー & ソリューション	75	79	5.2%
ネットワーク & コンテンツ	-16	-7	-
工業用部品	2	4	89.4%
ドミノ事業	-	2	-
その他	8	-11	-

※「その他」には、Q1に「全社調整」として計上したドミノ社の株式取得に関連する費用約▲18億円を含む

# 2015年度 通期 セグメント別予想



単位：億円

売上高	14通期	前回予想	15通期予想	対前年 増減率	対前年 現通期へ 増減率
<b>全社</b>	<b>7,072</b>	<b>8,300</b>	<b>8,000</b>	<b>13.1%</b>	<b>10.9%</b>
プリンティング & ソリューションズ	4,743	5,230	5,065	6.8%	4.6%
パーソナル & ホーム	514	550	545	5.9%	2.6%
マシナリー & ソリューション	1,006	1,080	983	-2.3%	-5.8%
ネットワーク & コンテンツ	490	591	575	17.5%	17.2%
工業用部品	174	200	195	11.8%	10.0%
ドミノ事業	-	500	500	-	-
その他	145	149	137	-5.7%	-2.8%

営業利益	14通期	前回予想	15通期予想	伸び率
<b>全社</b>	<b>575</b>	<b>580</b>	<b>500</b>	<b>-13.1%</b>
プリンティング & ソリューションズ	357	383	326	-8.7%
パーソナル & ホーム	49	53	53	7.5%
マシナリー & ソリューション	162	150	134	-17.4%
ネットワーク & コンテンツ	△ 9	16	12	-
工業用部品	3	14	10	248.7%
ドミノ事業	-	△ 27	△ 27	-
その他	12	△ 9	△ 8	-

※「その他」には、Q1に「全社調整」として計上したドミノ社の株式取得に関連する費用約▲18億円を含む

新興国の需要低迷により、通期見通しを引き下げ

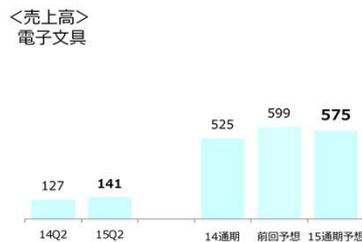
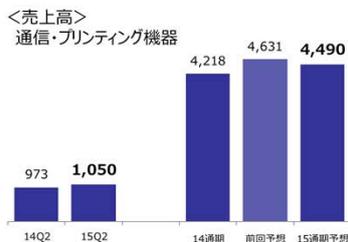
- ・北米・西欧などの先進国市場は概ね安定的に推移
- ・新興国向けのIJPハイタンクモデルの販売は想定を上回るペースが続く



単位：億円

	14Q2	15Q2	伸び率	見通し 伸び率
<b>売上高</b>	<b>1,100</b>	<b>1,191</b>	<b>8.2%</b>	<b>2.1%</b>
<b>通信・プリンティング機器</b>	<b>973</b>	<b>1,050</b>	<b>7.9%</b>	<b>2.0%</b>
米州	390	451	15.5%	2.9%
欧州	319	298	-6.8%	-6.7%
アジア他	166	177	6.4%	1.1%
日本	97	125	28.2%	28.2%
<b>電子文具</b>	<b>127</b>	<b>141</b>	<b>10.7%</b>	<b>2.7%</b>
米州	62	71	14.5%	0.8%
欧州	38	38	-0.7%	-1.1%
アジア他	19	21	10.2%	2.5%
日本	8	11	36.9%	36.9%
<b>営業利益</b>	<b>93</b>	<b>48</b>		

	14通期	前回予想	15通期予想	対前年 伸び率	対前年 見通し 伸び率
<b>売上高</b>	<b>4,743</b>	<b>5,230</b>	<b>5,065</b>	<b>6.8%</b>	<b>4.6%</b>
<b>通信・プリンティング機器</b>	<b>4,218</b>	<b>4,631</b>	<b>4,490</b>	<b>6.4%</b>	<b>4.5%</b>
米州	1,680	1,942	1,845	9.8%	3.7%
欧州	1,417	1,422	1,414	-0.2%	1.5%
アジア他	694	825	752	8.4%	7.7%
日本	427	442	479	12.1%	12.1%
<b>電子文具</b>	<b>525</b>	<b>599</b>	<b>575</b>	<b>9.6%</b>	<b>6.0%</b>
米州	253	298	289	14.1%	6.5%
欧州	158	162	162	2.7%	4.0%
アジア他	78	94	84	7.2%	4.8%
日本	35	45	40	13.5%	13.5%
<b>営業利益</b>	<b>357</b>	<b>383</b>	<b>326</b>		



© 2015 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

- ✓ 通信・プリンティング機器、先進国のマーケット自体には大きな変化はないものの、中国・中南米等の新興国地域での需要低迷を受け、見通しを引き下げ
- ✓ 今期投入した新興国向けのインクジェット複合機の大容量インクタンクモデルは、ユーザーから高い評価を得ており、当初の想定を上回るペースでの販売状況となっている

北米・西欧での販売が好調に推移

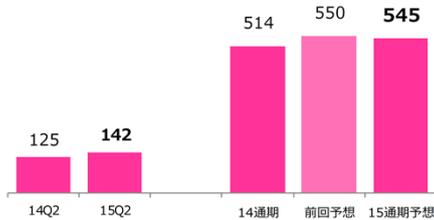
- ・中価格帯新製品投入により、北米・西欧での売上が拡大
- ・欧州はロシア向けが弱含むも、西欧は堅調続く



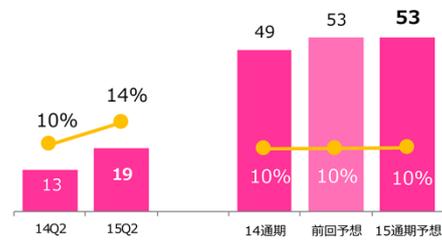
単位：億円

	14Q2	15Q2	伸び率	現通年-入 伸び率	14通期	前回予想	15通期予想	対前年 伸び率	対前年 現通年-入 伸び率
<b>売上高</b>	<b>125</b>	<b>142</b>	<b>14.0%</b>	<b>5.6%</b>	<b>514</b>	<b>550</b>	<b>545</b>	<b>5.9%</b>	<b>2.6%</b>
米州	75	92	22.6%	9.0%	296	329	330	11.5%	4.7%
欧州	24	23	-2.0%	-0.8%	111	109	100	-10.2%	-7.2%
アジア他	15	16	7.2%	2.7%	60	74	67	12.4%	11.8%
日本	11	11	0.0%	0.0%	48	38	48	1.0%	1.0%
<b>営業利益</b>	<b>13</b>	<b>19</b>			<b>49</b>	<b>53</b>	<b>53</b>		

<売上高>



<営業利益>



- ✓ 中価格帯の新製品の投入により、北米・西欧を中心に売上が拡大。欧州はロシアの影響でマイナスとなったが、西欧は好調が続いている

中国の景気減速を受け、産業機器の見通しを引き下げ

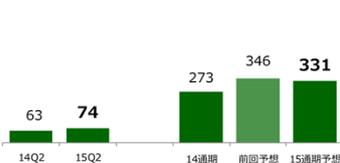
- ・工業用マシンは本縫い機新モデルの投入効果により、中国も堅調続く
- ・産業機器は、中国向けの受注弱含みにより、見通しを引き下げ



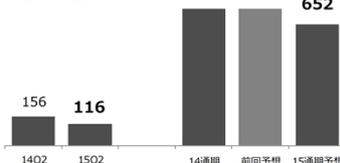
単位：億円

	14Q2	15Q2	伸び率	現通年→15 伸び率	14通期	前回予想	15通期予想	対前年 伸び率	対前年 現通年→15 伸び率
<b>売上高</b>	<b>219</b>	<b>190</b>	<b>-13.2%</b>	<b>-19.4%</b>	<b>1,006</b>	<b>1,080</b>	<b>983</b>	<b>-2.3%</b>	<b>-5.8%</b>
<b>工業用マシン</b>	<b>63</b>	<b>74</b>	<b>17.5%</b>	<b>4.2%</b>	<b>273</b>	<b>346</b>	<b>331</b>	<b>21.2%</b>	<b>13.9%</b>
米州	13	16	22.2%	5.6%	54	62	61	13.8%	4.0%
欧州	10	11	8.2%	9.9%	43	47	48	11.6%	14.9%
アジア他	38	45	19.7%	3.0%	169	230	215	26.9%	17.2%
日本	2	2	-11.5%	-11.5%	7	7	7	0.9%	0.9%
<b>産業機器</b>	<b>156</b>	<b>116</b>	<b>-25.7%</b>	<b>-29.0%</b>	<b>733</b>	<b>734</b>	<b>652</b>	<b>-11.1%</b>	<b>-13.1%</b>
米州	6	7	18.8%	-	29	28	26	-10.3%	-
欧州	7	5	-28.7%	-	23	30	25	9.7%	-
アジア他	129	87	-32.5%	-	622	609	529	-14.9%	-
日本	13	16	20.7%	-	59	67	71	20.0%	-
<b>営業利益</b>	<b>33</b>	<b>21</b>			<b>162</b>	<b>150</b>	<b>134</b>		

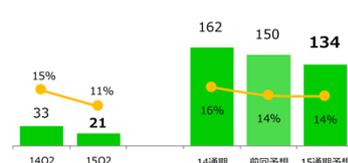
<売上高>  
工業用マシン



<売上高>  
産業機器



<営業利益>



© 2015 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

- ✓ 工業用マシンは、本縫い機新モデルの投入により、中国の売上が回復。欧米においてはガーメントプリンターが堅調に推移
- ✓ 産業機器は、下期にIT関連顧客向けの販売を見込むものの、足元の中国需要の低迷を織り込み、通期見通しを引き下げ

### Joysound新モデルを発表

- ・3年ぶりとなる通信カラオケ機器新モデルを7月に発売
- ・新製品効果により、下期は収益性の回復を見込む

JOYSOUND MAX



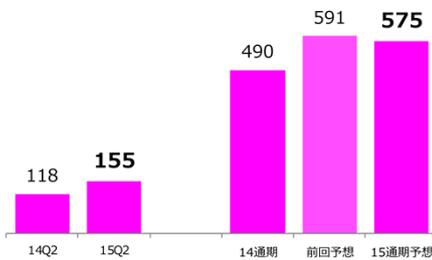
JOYSOUND 響



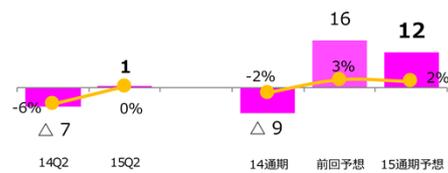
単位：億円

	14Q2	15Q2	伸び率	14通期	前回予想	15通期予想	対前年 伸び率
売上高	118	155	31.3%	490	591	575	17.5%
営業利益	-7	1		-9	16	12	

<売上高>



<営業利益>



© 2015 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

15

- ✓ 売上高は、通信カラオケ機器の新モデルを投入したことや、(株)テイクエンタテイメント及び(株)テイクミュージックを連結したことにより、増収を見込む
- ✓ 下期にかけて新製品効果が実現し、通期で12億の利益を見込む

### 高効率ギアモーターの販売拡大

- ・国内市場では、IE3モーターの販売拡大を狙う
- ・北米・韓国での売り上げ拡大を目指す

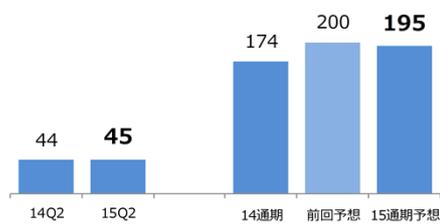
Nissei 株式会社 ニッセイ



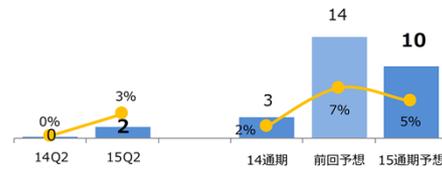
単位：億円

	14Q2	15Q2	伸び率	現通年 伸び率	14通期	前回予想	15通期予想	対前年 伸び率	対前年 現通年 伸び率
<b>売上高</b>	<b>44</b>	<b>45</b>	<b>3.0%</b>	<b>0.1%</b>	<b>174</b>	<b>200</b>	<b>195</b>	<b>11.8%</b>	<b>10.0%</b>
米州	5	7	28.4%	9.3%	23	30	30	31.6%	21.2%
アジア他	1	4	249.6%	228.0%	5	19	18	287.9%	279.2%
日本	38	34	-8.3%	-8.3%	147	151	147	0.0%	-0.2%
<b>営業利益</b>	<b>0</b>	<b>2</b>			<b>3</b>	<b>14</b>	<b>10</b>		

<売上高>

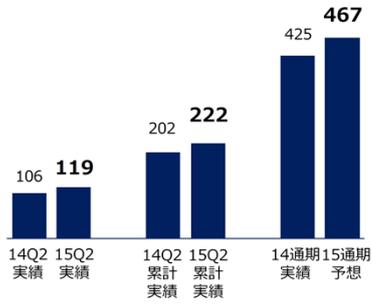


<営業利益>

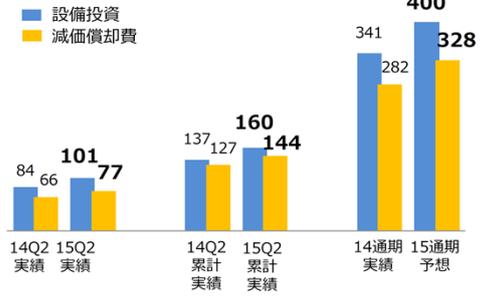


- ✓ 各地域とも堅調に推移
- ✓ 日本の売上は、アジアの一部地域における商流変更に伴う影響により、マイナスとなる

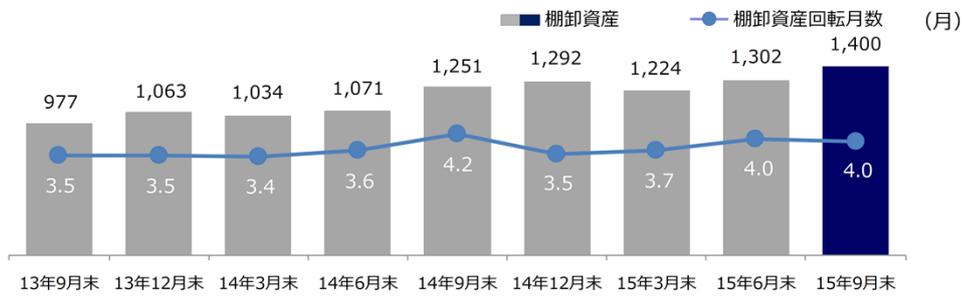
研究開発費  
(億円)



設備投資・減価償却費  
(億円)



棚卸資産  
(億円)



※15年6月末の棚卸資産残高にはドミノ事業分を除外して表示しております  
 ※棚卸資産回転月数 = 棚卸資産 ÷ (1ヶ月平均売上原価)

**brother**  
at your side